

取扱説明書  
データコレクター

---

**FC-250** for Windows Mobile® 6.5



## はじめに

このたびはトブコン製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

- この取扱説明書は、実際に機械を操作しながらお読みください。常に適切な取り扱いと、正しい操作でご使用くださいますようお願いいたします。
- ご使用前には、標準構成が全てそろっているかご確認ください。  
☞ 「標準構成」(別紙)
- 扱いやすく、より良い製品をお届けするため、常に研究・開発を行っております。製品の外観および仕様は、改良のため、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 掲載のイラストは、説明を分かりやすくするために、実際とは多少異なる表現がされている場合があります。あらかじめご了承ください。

# 本書の読み方

## ▶ 記号について

---

本書では、説明の中で次のような記号を使っています。



: 使用上の注意事項や、作業前に読んでいただきたい重要事項を示します。



: 関連する章（項）や参照していただきたい章（項）を示します。



: 補足事項を示します。

[スタート]  
など

: 画面に表示されているソフトキーやウィンドウダイアログボックスのボタンなどを示します。

## ▶ 登録商標について

---



- ・ *Bluetooth*<sup>®</sup> は、Bluetooth SIG, Inc., U.S.A の登録商標です。
- ・ Marvell<sup>®</sup> は、Marvell 社またはその子会社の登録商標です。
- ・ Microsoft , Windows Mobile および ActiveSync は、米国 Microsoft の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他、本書中の社名や商品名は各社の商標または登録商標です。



# 目次




はじめに .....	i
本書の読み方 .....	ii
目次 .....	iii
1. 安全にお使いいただくために .....	1
2. 使用上のお願い .....	3
3. 各部の名称 .....	4
3.1 FC-250 .....	4
3.2 無線 LED .....	5
3.3 コネクター .....	5
4. 準備 .....	6
4.1 お使いになる前に .....	6
4.2 ソフトウェアのインストール .....	6
■ダウンロードの手順 .....	6
4.3 バッテリー .....	7
■バッテリーの取り付け .....	7
■バッテリーの充電 .....	8
4.4 ハンドストラップの取り付け .....	10
4.5 タッチパネル .....	10
■タッチパネルの調整 .....	10
■タッチパネル保護フィルムについて .....	10
4.6 自動起動の設定 .....	11
4.7 パワーマネジメントの設定 .....	11
5. パソコンへのデータ転送方法 .....	12
5.1 インターフェースケーブルの使用 .....	12
■パソコンとの接続 .....	12
5.2 Bluetoothの使用 .....	13
■BluetoothのON/OFF .....	13
■Bluetoothの設定 .....	13
5.3 無線システム RS-1/RS-1 B (オプション) の使用 .....	13
5.4 無線 LAN の使用 .....	14
■無線 LAN の ON/OFF .....	14
5.5 CF カードの使用 .....	14
■CF カードの挿入方法 .....	14
5.6 KDDI モバイル通信カードへの対応 .....	14
6. FC-250 のリセット .....	15
6.1 ソフトリセット .....	15
■ソフトリセットの手順 .....	15
6.2 ハードリセット .....	15
■ハードリセットの手順 .....	15
6.3 フォーマットリセット .....	16
■フォーマットリセットの手順 .....	16
7. 仕様 .....	17

# 1. 安全にお使いいただくために




この取扱説明書や製品には、製品を安全にお使いいただき、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただきたいことが表示されています。その内容と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 表示の意味






 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が予想される内容を示しています。

-  この図記号は注意（警告を含む）を促す事項があることを示しています。この図の中や近くに、具体的な注意内容が書かれています。
-  この図記号は禁止事項があることを示しています。この図の中や近くに、具体的な禁止内容が書かれています。
-  この図記号は必ず行っていただきたい事項があることを示しています。この図の中や近くに、具体的な指示内容が書かれています。

## 全体について

-  **警告**
-  禁止  
分解・改造をしないでください。火災・感電・ヤケドの恐れがあります。
-  禁止  
炭坑や炭塵の漂う場所、引火物の近くで使わないでください。爆発の恐れがあります。

## 電源について

-  **警告**
-  禁止  
端子をショートさせないでください。大電流による発熱や発火の恐れがあります。
-  禁止  
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因になります。
-  禁止  
傷んだ電源コード・プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。火災・感電の恐れがあります。
-  禁止  
指定されている電源コード以外は使わないでください。火災の原因になります。



禁止

充電器に衣服などを掛けて充電しないでください。発火を誘発し、火災の恐れがあります。



指示

バッテリーの充電には、専用の充電器を使ってください。他の充電器を使うと、電圧や+-の極性が異なることがあるため、発火による火災・ヤケドの恐れがあります。



禁止

バッテリーを火中に投げ込んだり、加熱したりしないでください。破裂してケガをする恐れがあります。



禁止

バッテリーを他の機器や他の用途に使用しないでください。発熱・発火による火災・ヤケドの恐れがあります。



指示

バッテリーを保管する場合は、ショート防止のために、端子に絶縁テープを貼るなどの対策をしてください。そのままの状態では保管すると、ショートによる火災やヤケドの恐れがあります。



禁止

水にぬれたバッテリーや充電器を使わないでください。ショートによる火災・ヤケドの恐れがあります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。



## 注意



禁止

バッテリーからもれた液に触らないでください。薬害によるヤケド・カブレの恐れがあります。

## Bluetooth無線技術について



## 警告



禁止

病院内で使用しないでください。医療機器の誤動作の原因になる恐れがあります。



指示

心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。電波によりペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。



禁止

飛行機の中で使用しないでください。飛行機の計器などの誤動作の原因になる恐れがあります。



禁止

自動ドア等の自動制御機器の近くで使用しないでください。電波が自動制御機器の動作に影響を与え、誤動作による事故の原因になる恐れがあります。

## 2. 使用上のお願い

始業または操作時には、本機の機能および性能が正常に作動していることを確認してからご使用ください。

### 直射日光について

---

機械を長時間、炎天下に放置しないでください。長時間、炎天下に放置すると性能に影響する場合があります。

### 防水について

---

防水性が必要な場合は、すべてのキャップを確実に閉めてください。但し、シリアル信号コネクタは防水構造になっているため、キャップを閉めなくても防水性は保たれます。

### 保管について

---

ご使用後は機械の清掃をしてください。

- ・ 雨がかったときは、水分をよく拭きとってから保管してください。
- ・ 機械の汚れは、埃をよく払ってから柔らかい布で拭いてください。

### 使用者について

---

- ・ この取扱説明書は、測量について知識がある方を対象に書かれています。操作・点検・調整などは、この取扱説明書を熟読し内容を理解した上で、測量について知識がある方の指示に従って行ってください。
- ・ 測量作業の際は保護具（安全靴、ヘルメットなど）を着用ください。

### 免責事項について

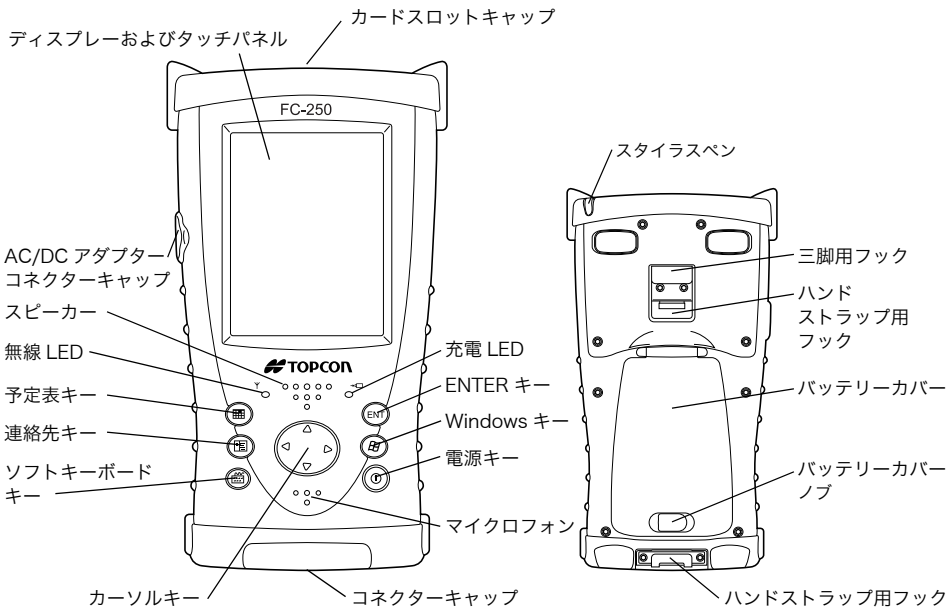
---

- ・ 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して当社は一切責任を負いません。
- ・ 本機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（データの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して当社は一切責任を負いません。
- ・ 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して当社は一切責任を負いません。
- ・ 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に対して当社は一切責任を負いません。



# 3. 各部の名称

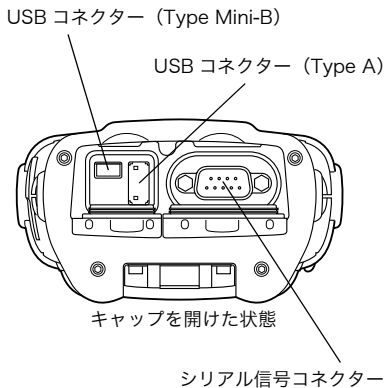
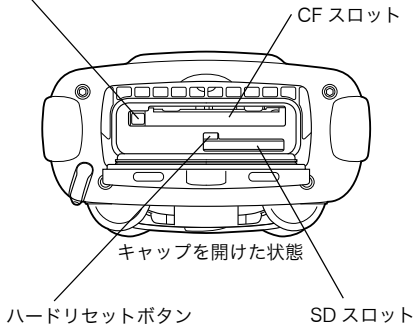
## 3.1 FC-250



カードスロット側

コネクター側

CF カード取り出しボタン  
 ・ CF カードを取り出すときは、ボタンを押して  
 ボタン自体を飛び出させてから再度押します。



### 3. 各部の名称

## 3.2 無線 LED

### 無線通信状態の表示

緑色点滅：Bluetooth、RS-1B（オプション）通信中

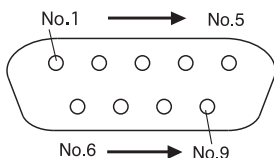
橙色点滅：RS-1（オプション）通信中

赤色点滅：無線 LAN 通信中

複数の無線を同時に使用したときは順番に点滅します。

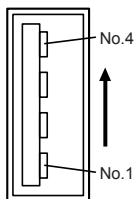
## 3.3 コネクター

シリアル信号コネクター



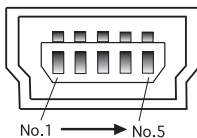
No.1	DCD	(IN)
No.2	RXD	(IN)
No.3	TXD	(OUT)
No.4	DTR	(OUT)
No.5	GND	
No.6	DSR	(IN)
No.7	RTS	(OUT)
No.8	CTS	(IN)
No.9	RI	(IN)

USB コネクター (Type A)



No.1	VCC
No.2	V-
No.3	V+
No.4	GND

USB コネクター (Type Mini-B)



No.1	VDD
No.2	V-
No.3	V+
No.4	NC
No.5	GND

## 4. 準備

### 4.1 お使いになる前に

FC-250 をご使用になる前に必ずバッテリーを充電してください。

またパソコンへの Windows Mobile デバイスセンターまたは ActiveSync のインストールが完了するまでは、本機をパソコンへ接続しないでください。

### 4.2 ソフトウェアのインストール

Windows Mobile デバイスセンターまたは ActiveSync をインストールすることで、パソコンと FC-250 との間でパートナーシップの設定や、Microsoft Outlook と FC-250 の予定表や連絡先などのデータを同期させたり、ファイルやフォルダーをコピーすることができます。

#### ■ ダウンロードの手順

パソコンが Windows Vista の場合は、下記の URL より Windows Mobile デバイスセンターをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyId=46F72DF1-E46A-4A5F-A791-09F07AAA1914&displaylang=ja>

#### 備考

- ・パソコンが Windows XP 及び Windows 2000 Service Pack 4 の場合は、次の URL より ActiveSync をダウンロードし、パソコンにインストールしてください。<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?displaylang=ja&FamilyID=9E641C34-6F7F-404D-A04B-DC09F8141141>
- ・Windows Mobile デバイスセンターや ActiveSync の設定や使用方法の詳細は各ソフトウェアのヘルプを参照してください。
- ・Windows Mobile デバイスセンターや ActiveSync に関する情報は下記の URL を参照してください。  
<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/>

#### 備考

- ・Windows Mobile デバイスセンター 6.1 は Windows Vista オペレーティングシステムがサポートしています。
- ・ActiveSync4.5 は Windows 2000 Service Pack 4 および Windows XP オペレーティングシステムがサポートしています。

## 4.3 バッテリー

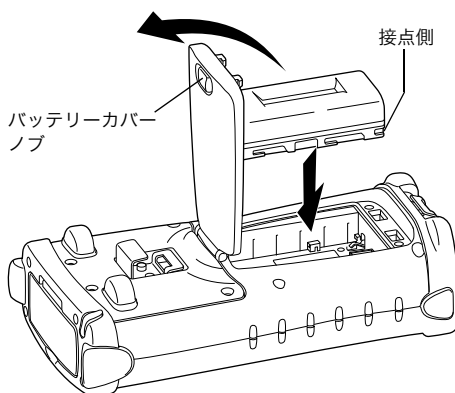
### ■ バッテリーの取り付け

- 1 ハンドストラップをはずします。
- 2 バッテリーカバーノブを矢印方向にスライドさせます。
- 3 バッテリーカバーを開けます。  
バッテリーカバーを開けると、自動的にサスペンド状態に移行します。

#### 備考

サスペンド状態とは：  
画面が消えて電源は OFF となりますが、  
各種設定は保存される状態です。  
電源キーを押して電源を OFF したときも、  
サスペンド状態になります。

- 4 右図の方向でバッテリーを取り付けます。
- 5 バッテリーカバーを閉じます。



## ■ バッテリーの充電

- 1 本体にバッテリーを取り付けた後、コンバーター AD-11A のコネクタを FC-250 に差し込みます。
- 2 AD-11A をコンセントに差し込みます。このとき LED が点灯します。充電は約 5.5 時間で完了します。

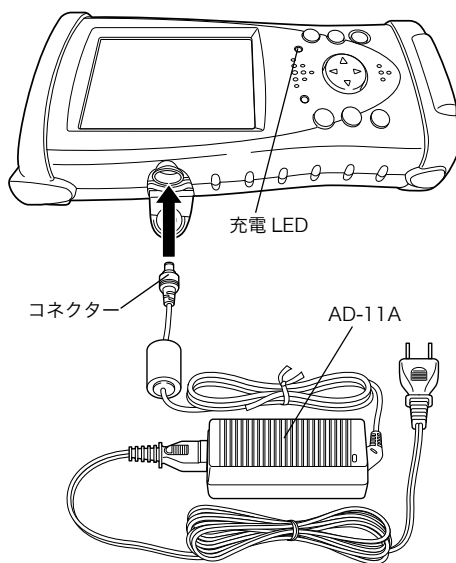
### LED の表示について

赤色点灯 : 充電中

緑色点灯 : 充電完了

消灯 : 充電エラー

(バッテリー未装着または充電温度範囲外)



- ・ 充電は室温 +10°C ~ +40°Cで行ってください。
- ・ 充電中、本体・充電器が熱を持つことがあります。故障ではありません。
- ・ バッテリーは使用しなくても自己放電しますので、使用前に必ず充電してください。
- ・ サスペンド状態の保持時間は約 8 日間です。(満充電バッテリー使用時)
- ・ サスペンド状態を保持するためには、8 日に 1 度は完全に充電してください。
- ・ 長時間使用しない場合でも、15 日に 1 度は、完全に充電し、30°C 以下のところで保存してください。1 度でも過放電状態になると性能が低下し、十分な充電ができなくなります。
- ・ 充電直後のバッテリーの充電は、バッテリーの劣化等の原因となる事があります。
- ・ 連続充電は、行わないでください。バッテリー・充電器の劣化を引き起こすことがあります。もしも行う場合は、充電器を約 30 分程度休止させてから行ってください。

## 4. 準備

---



### バッテリーを節約するには

#### ● バックライト

バックライトの輝度は工場出荷時、4（暗い側から4番目）です。必要のないときは輝度を下げたり、すぐに消えるように設定してください。輝度は下記の手順で調整します。

**1** [スタート] → [設定] → [システム] → [バックライト] → [照度] タブをタップします。

**2** [バックライト照度（バッテリー）] スライドバーを左右に動かします。

#### ● 無線の電源

使用していないときは *Bluetooth*、RS-1/RS-1B および無線 LAN の電源を OFF にしてください。

#### ● 低温時の使用

バッテリーは低温では容量が低下します。低温時に使用の際はできるだけ保温してください。

#### ● CF カード、SD カード、USB ポート

必要なとき以外はカードやケーブルをはずしてください。



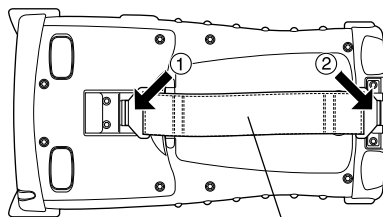
リチウムイオン電池のリサイクルにご協力をお願いします。

ご不要になりましたリチウムイオン電池は大切な資源です。

Li-ion 廃棄せずにリサイクル協力店またはお買い求めの販売店にお渡してください。

## 4.4 ハンドストラップの取り付け

- 1 ハンドストラップを①のハンドストラップ用フックに取り付けます。
- 2 ハンドストラップを②のハンドストラップ用フックに取り付けます。

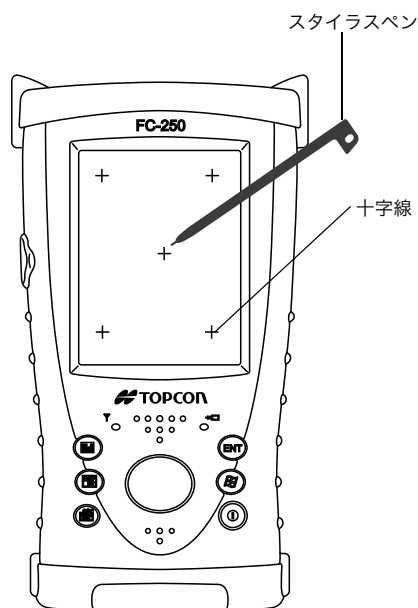


ハンドストラップ

## 4.5 タッチパネル

### ■ タッチパネルの調整

- 1 スタイラスペンで、[スタート]→[設定]→[システム]→[画面]→[画面の補正] ボタンをタップします。  
または、  
フォーマットリセット後、電源を入れます。
- 2 5ヶ所の十字線の中心を触れます。  
(タッチパネルの操作は、付属のスタイラスペンを使用してください。ボールペンや鉛筆は使用しないでください。)



### ■ タッチパネル保護フィルムについて

FC-250 には液晶タッチパネル用の保護フィルムが付属しています。紫外線 (UV) によるタッチパネルの劣化防止および、スタイラスペンを使用して操作する場合のパネルへの傷つけ防止のため、このフィルムを貼ってご使用ください。また、フィルムが傷ついたときは、新しいものと交換してください。

### 4.6 自動起動の設定

FC-250 は予定表の設定などによる自動起動は工場出荷時、無効になっています。自動起動を有効にする場合は、下記の手順で設定を変更してください。

- 1 [スタート] → [設定] → [パワーマネージメント] → [時計] タブをタップします。
- 2 [時計による起動を有効] をチェックします。
- 3 OK ボタンをタップします。

### 4.7 パワーマネージメントの設定

電源を入れたままにした場合、自動的に電源を切ることによりバッテリーの消耗を防ぎます。また、上記の自動起動設定を有効にすると、OS の仕様により不定期に自動起動することがありますので、パワーマネージメントの設定を推奨します。

- 1 [スタート] → [設定] → [パワーマネージメント] → [詳細設定] タブをタップします。
- 2 [バッテリー使用時：電源を切るまでのアイドル時間] をチェックします。
- 3 [5分] を選びます。
- 4 OK ボタンをタップします。



## 5. パソコンへのデータ転送方法

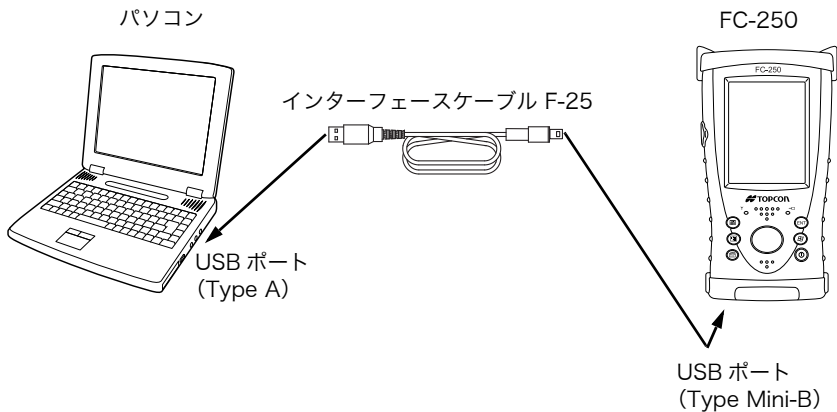
### 5.1 インターフェースケーブルの使用

#### ■ パソコンとの接続



パソコンへの Windows Mobile デバイスセンターまたは ActiveSync のインストールが完了するまでは、本機をパソコンへ接続しないでください。

- 1 下図のように FC-250 とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 2 パソコン画面の指示通りに進めます。
- 3 接続が完了すると、パソコン上に Windows Mobile デバイスセンターまたは ActiveSync ウィンドウが表示され同期が開始されます。[ エクスプローラ ] アイコンをクリックすると、本機内のファイルを見ることができます。



### 5.2 Bluetoothの使用

FC-250 は *Bluetooth* 通信機能が内蔵されています。同機能を備えた機器間ならワイヤレスで情報を交換することができます。\*1)

#### ■ Bluetooth の ON/OFF

*Bluetooth* 機能を ON するには下記の手順で操作します。

- 1 FC-250 の電源を ON します。
- 2 システムトレイの *Bluetooth* マークをタップして、ポップアップメニューから [*Bluetooth* マネージャー] を選択します。  
*Bluetooth* 機能が ON になると無線 LED が緑色に点滅します。



*Bluetooth* は使用するときのみ電源を入れてください。電源を ON のままにしておくと、通常より動作時間が短くなります。

#### ■ Bluetooth の設定

*Bluetooth* の設定の詳細は、*Bluetooth* マネージャーの取扱説明書を参照してください。

\*1) 対応プロファイル SPP、DUN

### 5.3 無線システム RS-1/RS-1B (オプション) の使用

オプションの無線システム RS-1/RS-1B を取り付ければ、トータルステーションなどとワイヤレスで通信できます。

FC-250 への RS-1/RS-1B の取り付け方法は、各々の取扱説明書を参照してください。

RS-1/RS-1B の設定の詳細はアプリケーションのヘルプを参照してください。

RS-1 機能が ON になると、無線 LED が橙色に点滅します。

RS-1B 機能が ON になると、無線 LED が緑色に点滅します。



RS-1/RS-1B は使用するときのみ電源を入れてください。電源を ON のままにしておくと、通常より動作時間が短くなります。

## 5.4 無線 LAN の使用

無線 LAN 機能を使用すれば、ワイヤレスでネットワークに接続できます。

### ■ 無線 LAN の ON/OFF

無線 LAN 機能を ON するには下記の手順で操作します。

- 1 [スタート] → [設定] → [システム] → [無線 LAN 電源] アイコンをタップします。
- 2 [電源 ON] ボタンをタップします。  
無線 LAN 機能が ON になると無線 LED が赤色に点滅します。



無線 LAN は使用するときだけ電源を入れてください。

電源を ON のままにしておきますと通常より動作時間が短くなります。

無線 LAN によるネットワーク接続の詳細は、下記の URL を参照してください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/wm50/techinfo/tips/connections.msp>

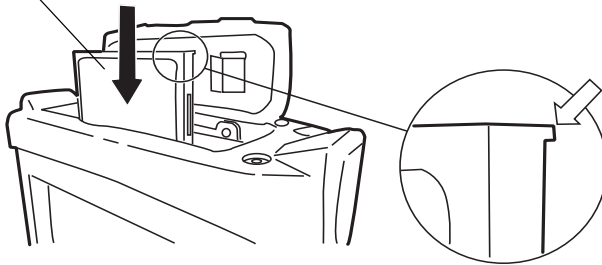
## 5.5 CF カードの使用

### ■ CF カードの挿入方法

CF カードは下図の向きで挿入してください。

表裏を間違えて無理に挿入すると、カード挿入口のピンが破損し故障する場合があります。

カードおもて面



カードをまっすぐに挿入してください。

カードを斜めに無理に挿入すると、カード挿入口のピンが破損し故障する場合があります。

## 5.6 KDDI モバイル通信カードへの対応

KDDI より発売されている CF カードタイプのモバイル通信カードへの対応は以下の通りです。

W03H : 対応していません

W04K、W05K : 対応しています

## 6. FC-250 のリセット

キーを押したり画面をタップしても応答がない場合は、FC-250 をリセットする必要があります。FC-250 のリセットには下記の 3 種類があります。リセットをしてから OS が再起動するまで、約 1 分以上かかります。

### 6.1 ソフトリセット

ソフトリセットでは実行中のすべてのアプリケーションが停止し、編集中的数据は失われますが、インストールしたプログラムや保存されたデータは保護されます。

#### ■ ソフトリセットの手順

- 1 ケーブルやカード (CF, SD) が取り付けられているときは、すべて取り外します。
- 2 連絡先キーを押しながらカーソルキーを右斜め上方向に 2 秒以上押します。

### 6.2 ハードリセット

ソフトリセットしても正常に動作しないときはハードリセットをおこなってください。ハードリセットでは実行中のすべてのアプリケーションが停止し、編集中的数据は失われますが、インストールしたプログラムや保存されたデータは保護されます。但し、ハードウェア情報 (デバイス名など) は初期化されます。

#### ■ ハードリセットの手順

- 1 ケーブルやカード (CF, SD) が取り付けられているときは、すべて取りはずします。
- 2 カードスロット内の中央にあるハードリセットボタンをスタイラスペンで軽く押します。
- 3 電源キーを押します。

## 6.3 フォーマットリセット

ハードリセットしても正常に動作しないときは、フォーマットリセットを行ってください。フォーマットリセットでは、すべての状態が工場出荷時に戻ります。

ユーザーが保存したデータやインストールしたプログラムも消去されます。また、設定した時刻およびデスクトップやプログラムフォルダーに作られたショートカット情報なども初期化されます。

ユーザーデータは必ずバックアップをとってください。

フォーマットリセットを行った場合は、時刻を再設定後、アプリケーションの再インストールが必要です。

### ■ フォーマットリセットの手順

- 1 ケーブルやカード (CF, SD) が取り付けられているときは、すべて取り外します。
- 2 ハードリセットボタンを押します。
- 3 予定表キー、ENTER キー、電源キーを同時に再起動するまで押し続けます。

#### 備考

フォーマットリセットしても正常に動作しないときは修理が必要です。  
お求めの販売店または当社までご連絡ください。

## 7. 仕様

### コントローラー部

マイクロプロセッサ	: Marvell®PXA320
プロセッサ速度	: 806MHz
OS	: Microsoft® Windows Mobile® 6.5 日本語版
メモリー	: RAM 256MB SDRAM
	: ROM 1GB NAND Flash
ディスプレイ	: 表示解像度 480 × 640 VGA
	: タイプ 3.7 インチ TFT カラー LCD
	: 表示色数 262,144 色
	: 照明 LED バックライト
タッチパネル	: アナログ抵抗薄膜式
キーボード	: 7 キー (POWER キーを含む)
LED	: 2LED (充電、無線)
インターフェース	: RS-232C 準拠 (D-sub 9)
	: USB (Rev 1.1) (Type Mini-B)
	: USB (Rev 1.1) (Type A) *1)
	: コンパクトフラッシュ (Type I / II 準拠)
	: SDIO/SD/SDHC/MMC カードスロット *2)
	: RS-1/RS-1B (オプションの無線システム) 接続ポート (独自 30 ピン)
外部電源	: 12V 3A (最大)
音声	: 密閉型スピーカー (モノラル)、密閉型マイクロフォン

\*1) コネクター形状は 9.0 - 16.5mm 以内

\*2) SD/SDHC/MMC カードによっては動作しない場合があります。詳しくは「動作確認済みメモリー一覧」を参照ください。

SD カードの上限容量は 2GB まで、SDHC カードの上限容量は 32GB までです。

### 電源部

消費電力	: 通常使用時 1.85W
使用時間 *3)	: 通常使用時 約 10 時間
	: Bluetooth 使用時 約 8 時間
	: 無線 LAN 使用時 約 6 時間
サスペンド (電源 OFF) 状態保持時間	: 約 8 日間 (満充電バッテリー使用時)
入力電圧範囲	: 10 ~ 15VDC (最大 3A)
充電時間	: 約 5.5 時間 (AD-11A 使用時)

\*3) 使用時間は Bluetooth、無線 LAN や RS-1 の使用の有無、バックライトの輝度、使用温度、アプリケーションソフトなどにより変わります。

### Bluetooth® 機能

無線通信規格	: Bluetooth® version 1.2®
Class	: Class 2 (2.5mW)
伝送方式	: 周波数ホッピング方式スペクトラム拡散 (FH-SS)
変調方式	: GFSK
データ転送速度	: 1Mbps (最大)
アンテナ	: チップアンテナ (内蔵)
周波数帯域	: 2.4GHz (2,402 ~ 2,480MHz) (0 ~ 78ch)
伝送距離	: 10m (障害物がない状態) *4)
対応 Profile	: SPP、DUN

## 無線 LAN 機能

無線通信規格	: IEEE802.11g/b
伝送方式	: 直接拡散型スペクトラム拡散 (DS-SS)
アクセス方式	: インフラストラクチャモード、アドホックモード
アンテナ	: プリント基板アンテナ (内蔵)
セキュリティ	: WEP (128/64 ビット)、TKIP
周波数帯域	: 2.4GHz (2,412 ~ 2,462MHz) (1 ~ 11ch)
送信出力	: 30mW
伝送距離	: 10m (障害物のない状態) *4)

\*4) 通信機器間の障害物や状況により、変化する可能性があります。

## 耐環境性

耐水性および耐じん性	: JIS C0920 保護等級 IP66 *5)
使用温度範囲	: -20 °C ~ +50 °C
保管温度範囲	: -30 °C ~ +60 °C
耐衝撃性	: 高さ 1m からの落下による機能への影響はなし *6)

\*5) キャップ類装着時

\*6) コンクリート地面に 6 面落下後、動作を確認。但し、外観の損傷は除く。

## 寸法・質量

寸法	: 196 × 107 × 61 (mm)
質量	: 0.7kg (バッテリーを含む)

## バッテリー (BT-66Q)

型式	: リチウムイオン電池
定格電圧	: 7.4V
公称容量	: 2,500mAh
外形寸法	: 72 × 39 × 22 (mm)
質量	: 110g

## AC/DC コンバーター (AD-11A)

入力	: 100 ~ 240V 50 ~ 60Hz、1.4A
出力	: 12V 3A MAX.36W
充電温度範囲	: 0 °C ~ +40 °C
外形寸法	: 88 × 41 × 27 (mm) (ケーブル部は除く)
質量	: 200g

# JSIMA

日本測量機器工業会の  
シンボルマークです。

## お客様へのお知らせ

本製品は、リサイクルに適した材料を使用しています。廃製品として処理される場合は、専用の回収・リサイクル業者に委託されます様、お願い致します。廃製品の処分をお考えのお客様でお問い合わせなどございましたら、弊社ホームページ <http://www.topcon.co.jp/csr/index.html> をご覧下さい。





---

機器の修理・サービスのお問い合わせまたは、  
機器に関するご質問・ご相談は下記の販売代理店へ

取扱代理店名

トプコンホームページ <http://www.topcon.co.jp>

**株式会社 トプコン** 本社 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1

**株式会社 トプコン販売** 本社 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1

※ 弊社連絡先詳細は、添付の「測量機器に関するご質問・ご相談」シートまたは弊社ホームページをご覧ください。